

第4回全国大会

2005年7月2日(土) 3日(日) 於 法政大学国際文化学部

<大会プログラム>

第1日目 7月2日(土)

9:00 - 10:00 常任理事・幹事会

10:00 - 12:00 自由論題セッション A. B. C. D. (下記参照)

12:00 - 13:30 フォーラムⅠ スタディーアブロードプログラムの課題と展望

田澤耕 法政大学国際文化学部教授

フォーラムⅡ 国際文化学部・学科における就職支援

内田正博 神戸大学国際文化学部教授

13:30 - 15:30 共通論題セッション 1.

「インターカルチュラルの開く可能性ー国際文化学の構築に向けてー」

司 会：寺田元一 名古屋市立大学人文社会学部教授

パネリスト：幸泉哲紀 龍谷大学国際文化学部教授

島崎 隆 一橋大学社会学部教授

吉武利和 香蘭女子短期大学ライブ ランニング 総合学科教授

共通論題セッション 2.

「日韓大衆文化交流の現在 ー「韓流」と「日流」のはざままで ー」

司 会：報告者：林夏生 富山大学人文学部助教授

パネリスト：平田由紀江 韓国・延世大学社会学部博士課程

他2名予定

共通論題セッション 3.

「ナショナリズムと文化」

司 会：平野健一郎 早稲田大学政経学部教授

パネリスト：長崎暢子 龍谷大学国際文化学部教授

酒井啓子 アジア経済研究所国際関係紛争研究グループ 長

吉澤誠一郎 東京大学 人文社会系研究科助教授

15:30 - 16:00 コーヒーブレイク

16:00 - 18:00 共通論題セッション 4.

「文化外交の最前線」

司 会：川村陶子 成蹊大学文学部助教授

基 調 報 告：「日本の広報文化外交がめざすもの」

近藤誠一 外務省広報文化交流部長

パネリスト：若松邦宏 東京外国語大学助教授

内藤耕 東海大学文学部アジア文明科助教授

毛受敏浩 日本国際交流センタープログラムオフィサー

共通論題セッション 5.

「開発援助と組織の文化」

司会：関根久雄 筑波大学社会科学系助教授

発表者：斉藤文彦 龍谷大学国際文化学部助教授

杉田映里 ロンドン大学大学院

渡邊由香里 筑波大学大学院

討論者：佐藤寛 アジア経済研究所開発研究センター参事

角田宇子 亜細亜大学国際関係学部助教授

18:30— 懇親会

第2日目 7月3日(日)

9:00—10:00 理事会

10:00—12:00 自由論題セッション E. F. G. H. (下記参照)

12:00—1:00 総会

1:00—3:30 シンポジウム「国際文化学の中の日本学」

コーディネーター：川村湊法政大学国際文化学部教授

パネリスト：王敏 (ワ・シ) 法政大学国際日本学研究センター専任所員

ジェームス・ロバーソン 女学館大学国際文化学部教授

バンバン・ウイバワルタ インドネシア大学

国際基督教大学客員研究員

他1名予定

自由論題発表者テーマ

<自由論題セッションA>

1. J.A.T.D.にしゃんた (山口県立大学国際文化学部 専任教員)
：異文化の中での日本的経営—スリランカを事例に
2. 箕曲在弘 (早稲田大学大学院文学研究科博士課程)
：タイにおける日本製大衆文化の受容
3. 成 寶景 (龍谷大学国際文化学研究科博士後期過程)
：食に見る文化の接触・移転・変容

<自由論題セッションB>

1. 桐谷多恵子 (法政大学博士課程研究生)
：戦後広島「復興」と被爆者の「原風景」(1946年～1950年)
2. 桑田カツ子 (会津大学短期大学部非常勤講師)
：2人の外国人女性が見た明治時代の日本女性
3. 杉村 使乃 (敬和学園大学 専任講師)
：イギリスにおける「ガールスカウト」運動：戦争・ジェンダー・階級

<自由論題セッションC>

1. 小林信彦 (桃山学院大学)
：オンナ・ノ・サガ (女の性) —日本人が好んで取り上げた論題—

2. 末宗悟子（滋賀大学・教育学研究科・教科教育専攻）
：物の怪はどう訳されたかー六条御息所の生霊についてー
3. 阪口有美子（龍谷大学国際文化学研究科後期博士課程）
：牽牛と織女の物語についてー七夕伝承の発生過程に関する一考察ー

<自由論題セッションD>

1. 内田真理子（東京大学大学院 新領域創成科学研究科博士課程）
：コンテンツ財の外部効果に関する分析
2. 佐和達児（京都造形芸術大学大学院芸術研究科博士課程）
：日本におけるノイズミュージックの起源
3. 森朋子（東北大学大学院）
：「現代のプロメテウス」の行方ー*Supertoys* と *A. I.* の比較を中心にー
4. 立岡浩（花園大学社会福祉学部 助教授）
：映像コンテンツ産業について（仮題）

<自由論題セッションE>

1. 大山 万里子（龍谷大学大学院国際文化学研究科博士後期課程）
：カナダにおける先住民教育制度の現状と課題に関する一考察
2. 娜仁花（元大東文化大学法学研究科法律学専攻博士前期課程）
：中国における少数民族の教育の権利と現状について
3. 菅野敦志（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程）
：台湾における言語政策とアイデンティティ問題ー母語教育、ピンイン論争を中心にー

<自由論題セッションF>

1. 神谷信明（岐阜市立女子短期大学 国際文化学科 教授）
：複合民族国家における宗教・文化の機能とその役割ースリランカを事例としてー
2. 小西正雄（鳴門教育大学）、石川英司（香川県財田町立財田上小学校）
：現象としての巡礼と学校教育ー「コミュニタス」と「生成」に着目してー
3. 山中大輔（龍谷大学国際文化学研究科博士後期課程）
：外国人ニューカマーに対する民間組織における生活等サポートに関する一考察
4. 岡崎淑子（聖心女子大学）
：東南アジア移民社会における文化伝承ー実地調査報告ー

<自由論題セッションG>

1. 鈴木享尚（亜細亜大学経済学部）
：革命的民主化と民主主義をめぐる闘争ーマダガスカルの民主化を中心としてー
2. 長島怜央（法政大学大学院 社会学研究科社会学専攻 博士後期課程）
：1970・80年代のグアムにおけるチャモロ人組織の活動ーミクロネシアの脱植民地化のなかで
3. 塩崎公靖（法政大学大学院人文科学研究科国際文化専攻修士課程2年）
：20世紀初頭におけるバスク・ナショナリズムとアイルランド・ナショナリズムの協調関係（仮題）

<自由論題セッションH>

1. 渡辺肇（倉敷芸術科学大学国際教養学部 教授）
：オーストリア「皇太子」の熊本訪問と北白川宮能久親王

2. 石野裕子（津田塾大学国際関係学研究所 研究員）
：国民文化と国際関係-フィンランド神話カレワラ研究の軌跡をめぐって
3. 杉本健二（筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科現代文化・公共政策専攻文化交流論分野）
：EU 拡大と歴史問題：ズデーテン・ドイツ人追放問題をめぐるチェコとドイツの試みを事例として

日本国際文化学会第4回全国大会準備室

〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学 国際文化学部

国際文化学部長 大沢暁研究室 TEL:03-3264-9360 FAX:03-3264-9219

Mail : satosawa@i.hosei.ac.jp